

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	044								
事務事業名	地域医療体制確保事業経費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	04	項	01	目	01	事業	04
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課		担当係	管理係			係										
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称:)													

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。											
現状課題	・きぬ医師会病院小児科の充実については、市民や議会からの要望を受けて常勤医師1名の確保につなげることができたが、土曜日診療を毎週診療実施の要望がある。 ・手術・入院を要する重症患者を休日・夜間に受け入れる二次救急医療体制は、病院群輪番制によって体制を整備している。				誰・何を対象に	・小児科診療を受診することもと保護者 ・休日・夜間において、手術や入院診療を必要とする市民。				どのような方法・手順で	○常総地域病院群輪番制病院運営事業費負担金: 休日・夜間における重症救急患者の医療確保のため輪番制方式を行っている○常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業費負担金: 休日・夜間における小児救急患者の医療確保のため協力病院が診療を分担している。○茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金・休日夜間における重症救急患者及び、小児救急患者の医療のため協力病院を輪番制で確保。○きぬ医師会病院小児科運営費補助金・小児科医不足に対応し小児科診療に従事する職員給与の一部補助をすることにより小児科医の確保を行う。				望ましい状態	・身近な市内の病院で、小児科診療を受けることができる状態。 ・市民が休日・夜間において、手術や入院診療が必要になった場合、安心して二次救急医療を受けることができる状態。					

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく、具体的に記入してください。									
指標名	単位	目標値	目標年次	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	休日・夜間における事故や病気の重症救急患者及び小児救急患者に対して、安心して救急医療を受けていただくこと、小児科医不足の対策として小児科医療業務に従事する小児科医を確保するために職員給与の一部補助に対応したもので、成果に繋がるわけではないため、目標値の設定はできない。													

4 事務事業の実績 ㊦										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。											
年度	2016年度				2017年度				2018年度												
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量													
事務事業を構成する主な業務	① 常総地域病院群輪番制病院運営事業	496	① 常総地域病院群輪番制病院運営事業	431人	① 常総地域病院群輪番制病院運営事業	人															
	② 常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業	315	② 常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業	301人	② 常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業	人															
	③ 茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金	169	③ 茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金	190人	③ 茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金	人															
	④ きぬ医師会病院小児科運営費補助金	5,174	④ きぬ医師会病院小児科運営費補助金	6,351人	④ きぬ医師会病院小児科運営費補助金	人															
	⑤		⑤		⑤																
	⑥		⑥		⑥																
	⑦		⑦		⑦																
	⑧		⑧		⑧																
	⑨		⑨		⑨																
	⑩		⑩		⑩																
	⑪		⑪		⑪																
	⑫		⑫		⑫																
目標値に対する実績値				目標値に対する実績値				目標値に対する実績値													
決算額	計	30,416,599 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	30,416,599 円	計	13,000,979 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	13,000,979 円	計	15,220,051 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	15,220,051 円
	(住民一人あたりの行政コスト) 500 円				(住民一人あたりの行政コスト) 215 円				(住民一人あたりの行政コスト) 254 円												

5 担当者評価 ㊧										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標は設定していない	成果内容	「指標及び目標値設定の考え方」とおり成果に繋がるわけではないが、市民が安心して生活していくためには、入院治療を必要とする重症の救急患者を受入れ可能な、24時間体制の医療機関が必要である。																
	問題点	住民の高齢化が年々高くなっていくにあたり、診療科目等の増加及び医師の確保が重要視される。																	

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	きぬ医師会病院小児科の受診者数は年々増加傾向にあることから、子育て環境の充実に寄与していることが伺える。今後は、小児科に加え、市内への産科医療施設誘致に向けた施策を講じることで、市民が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、事業の拡充が必要である。																		

7 実施計画 ㊩										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。									
年度	2019年度				2020年度				2021年度										
事業内容	○地域医療内の病院が輪番制方式により、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受け入れ体制の確保。 ○常総地域病院群輪番制病院運営事業費負担金 地域内8医療機関の協力を得て実施 ○常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業費負担金 地域内の2医療機関の協力を得て実施。 ○茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金 病院群輪番制: 地域内の6医療機関の協力により実施 小児救急医療輪番制: 地域内の3医療機関の協力により実施 ○きぬ医師会病院小児科運営費補助金 小児科医療不足の対策として、きぬ医師会病院小児科診療業務に従事する職員給与の一部助成。 ○きぬ医師会地域医療体制強化事業費補助金 疾病予防及び介護予防事業の病院診療体強化を図り、健康寿命の延命を繋げるため実施。 ○市民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるため、市内に産科医療施設を開設等しようとする者に対し、その開設等に要する経費の一部を補助する。 ○産科医療施設開設等事業補助金に係る条例・要綱の制定 ○平成32年度予算要求 ○広報				○地域医療内の病院が輪番制方式により、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受け入れ体制の確保。 ○常総地域病院群輪番制病院運営事業費負担金 地域内8医療機関の協力を得て実施 ○常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業費負担金 地域内の2医療機関の協力を得て実施。 ○茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金 病院群輪番制: 地域内の6医療機関の協力により実施 小児救急医療輪番制: 地域内の3医療機関の協力により実施 ○きぬ医師会病院小児科運営費補助金 小児科医療不足の対策として、きぬ医師会病院小児科診療業務に従事する職員給与の一部助成。 ○きぬ医師会地域医療体制強化事業費補助金 疾病予防及び介護予防事業の病院診療体強化を図り、健康寿命の延命を繋げるため実施。 ○市民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるため、市内に産科医療施設を開設等しようとする者に対し、その開設等に要する経費の一部を補助する。 ○産科医療施設開設等事業補助金に係る条例・要綱の制定 ○平成32年度予算要求 ○広報				○地域医療内の病院が輪番制方式により、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の受け入れ体制の確保。 ○常総地域病院群輪番制病院運営事業費負担金 地域内8医療機関の協力を得て実施 ○常総地域小児救急医療輪番制病院運営事業費負担金 地域内の2医療機関の協力を得て実施。 ○茨城西南地方広域市町村圏事務組合負担金 病院群輪番制: 地域内の6医療機関の協力により実施 小児救急医療輪番制: 地域内の3医療機関の協力により実施 ○きぬ医師会病院小児科運営費補助金 小児科医療不足の対策として、きぬ医師会病院小児科診療業務に従事する職員給与の一部助成。 ○きぬ医師会地域医療体制強化事業費補助金 疾病予防及び介護予防事業の病院診療体強化を図り、健康寿命の延命を繋げるため実施。 ○市民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるため、市内に産科医療施設を開設等しようとする者に対し、その開設等に要する経費の一部を補助する。 ○産科医療施設開設等事業補助金に係る条例・要綱の制定 ○平成32年度予算要求 ○広報										
	成果指標	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値	指標名	単位	目標値									
予算額	歳出	計	22,430 千円	歳出	計	132,430 千円	歳出	計	132,430 千円										
		特定財源	0 千円		特定財源	0 千円		特定財源	千円										
	歳入	一般財源	22,430 千円	歳入	一般財源	132,430 千円	歳入	一般財源	132,430 千円										
		計	22,430 千円		計	132,430 千円		計	132,430 千円										

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。市民が安心して医療を受けられる体制の確保をしていただきたい。また、今後は市内に小児科だけでなく、産科医療施設を誘致できるように努力されたい。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪									
事務事業の方向性									
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	地域医療体制強化は、市民の生活の安心感を高めるには非常に重要であり、特に市内に小児科をメインとしている医師が少ない点からも、この事業による役割は大きい。今後とも、きぬ医師会を地域医療体制の核として診療科目の充実を図るなど強化されたい。								

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㊫										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容																			